



2022年

2月

中国四国農政局  
高知県拠点

## 高知県の鳥獣被害対策への取組

### 高知県の鳥獣被害状況

高知県では、令和2年度の野生鳥獣による農林水産業被害額約1億1千3百万円のうち6割以上をシカとイノシシが占めており、有害鳥獣の捕獲を強化して取り組んできたため、捕獲数は10年間で1.5倍に増加しました。

被害額は近年減少傾向にあるものの、依然として毎年高い水準で推移しており、野生鳥獣による農林水産被害が深刻化しています。



(シカによる自然植生被害)



(銃猟の様子)



(イノシシによる水稻被害)



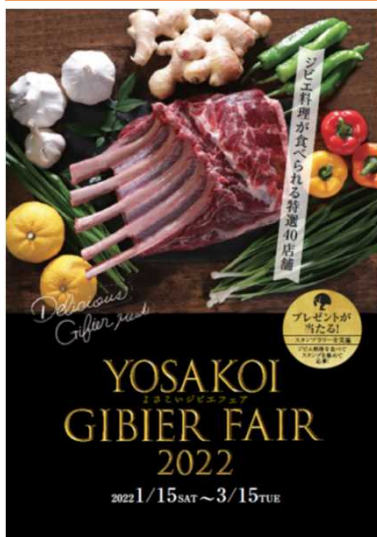
(わな猟の様子②)

### 新たな狩猟者確保のための取組

野生鳥獣をジビエ（野生鳥獣の食肉）として活用するための主な狩猟方法として、わな猟と銃猟があります。狩猟を行うには狩猟免許の取得が必要であるため高知県では、市町村を通じて狩猟免許取得に必要な費用の一部を補助をしています。

高知県は、令和4年1月15日（西部エリア）と1月22日（中部エリア）に初心者を対象としたわな猟体験ツアーを行うなど、新たな狩猟者確保に向けた取組を行っています。

### ジビエの消費拡大「よさこいジビエフェア2022」



高知県では、捕獲したシカやイノシシ等を地域の資源として有効活用するため、ジビエの消費拡大にも取り組んでいます。その一環として、たくさんの方に食べていただけるよう県内レストラン等40店舗の協力を得て、2022年1月15日から3月15日までの2カ月間「よさこいジビエフェア2022」を開催しています。

この機会にジビエ料理を味わってみませんか？

(高知県HP)

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/070201/2019122000056.html>



高知の食文化の一つとして  
ジビエ料理の定着を

(よさこいジビエフェアのポスター) (写真提供：高知県、南放サーラー広告株式会社)

## 令和3年度全国ジビエフェアの開催について

農林水産省では、ジビエの全国的な認知向上、普及、需要拡大に向けた取組を行っています。

その一環として、ジビエをもっと知って「食べたい」と思ってもらえるよう、ジビエメニューを提供する飲食店等の情報を取りまとめ提供する「全国ジビエフェア」を令和3年11月1日から令和4年2月28日まで開催しています。



(イノシシ肉を使ったぼたん鍋)

ぜひ、この機会にジビエ料理を味わってみませんか。

詳しくは、こちらをご覧ください。  
(農林水産省HP)

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/211027.html>

## 令和3年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰について

中国四国農政局では、水路や農道等の地域資源の保全管理など、農業の有する多面的機能の発揮を促進する活動を支援する事業に取り組んでいる組織等を対象に、優良な取組への表彰を実施しています。

このたび、令和3年度の受賞組織が決定し、高知県内では、田野川甲環境保全会が優秀賞を受賞いたしました。おめでとうございます！

たのかわこうかんきょうほぜんかい

田野川甲環境保全会(高知県四万十市)

- (1) 認定農用地面積：24.8ha  
(田：24.7ha、畑：0.1ha)
- (2) 組織構成：1集落(農家27戸、非農家2戸)  
農業者、非農業者、自治会で構成

### 【地区の概要】

- 高齢化による集落活動の低下に対応するため、平成19年に本地区を設立
- 平成27年度に農事組合法人「田野川甲営農組合」を設立し、農業用施設の保全管理と担い手への農地集積推進
- 市がブランド化を推進する「しまんと農法米」の栽培を行っている

### 【主な取組み内容】

- 水路の泥上げ、草刈り、遊休農地の発生防止
- 女性構成員を主体としたパンジー、コスモス等の植栽活動
- 地域ぐるみのイノシシ、シカ等の鳥獣防止対策の実施



(植栽活動)



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 高知県拠点

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL(088)875-7236(代) FAX(088)875-7531 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>